

博物館だより

国指定史跡・甲斐金山遺跡 / 湯之奥・中山金山

甲斐黄金村・湯之奥金山博物館報

第8回企画展

甲斐黄金村・湯之奥金山博物館収蔵庫展

かなやまちゅう

金山衆の 風林火山

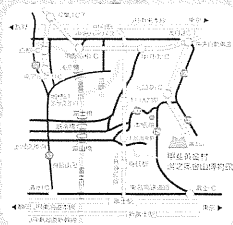
平成19年

4月19日(木)~5月20日(日)

場所: 甲斐黄金村・湯之奥金山博物館多目的ホール

観覧料: 観覧券及び共通券にてご入館の方は無料
企画展のみご覧の方は100円

観覧時間: 午前9時~午後5時まで・毎週水曜日休館



国指定史跡『湯之奥中山金山』ガイダンス館
甲斐黄金村・湯之奥金山博物館

〒409-8847 山梨県南巨摩郡身延町上之平1787番地定 (JR下都賀駅特快徒歩3分)
TEL 055-25-0016 FAX 055-25-0023 <http://www.museum.kofu.ac.jp/> <http://www.kofu.ac.jp/>
利用のご案内 甲斐黄金村 湯之奥金山博物館 19年1月1日 19年1月1日

実を結んできた博物館活動

甲斐黄金村・湯之奥金山博物館 館長 谷 口 一 夫

金山博物館の平成18年度の有料入館者数が20,032人と2万人を超えた。学校利用、報道関係者の取材、行政、観光関係、また添乗員研修など617名の無料入館者と、特別展・企画展(無料)の入館者8,446名(この中から有料入館者につながる方がいる)を加えると、およそ3万人に近い方々が利用したことになる。

また平成9年の開館年度の有料入館者22,301人から平成12年度までは基礎固めが続いたが、平成13年度以降は毎年有料入館者は上昇を続け、目標だった有料入館者数2万人台を達成した。これは常に緊張感と意欲を持って継続的に事業をこなしてきた職員のたゆまぬ努力によるものだと言える。

金山博物館は教育基本法(博物館法)に基づく登録博物館としての教育施設としての位置付けの中で、国指定史跡甲斐金山遺跡(黒川金山・中山金山)のガイダンス館という役割を中心に展開するが、同時に観光面でも積極的に取り組み、身延町の活性化の拠点的な活動も視野にいたれた日常業務を行っている。

主な事業は、①常設展(映像シアター、ジオラマ展示、資料展示)、砂金体験室(番付表の掲示、ホームページへの番付掲載)に加え、企画展(7回)・特別展(10回)の開催。②公開講座(50回)。③展示図録2版・金山史研究(8集)・館だより(40号)などの図書刊行。④こどもの科学する芽を育てる「子ども金山探険隊」(6回)。⑤砂金掘り大会(6回)、有名私学(灘・開成・海城・駿台甲府・山梨学院)交流砂金掘り大会(3回)、⑥出前博物館(身延町管内・管外小中学校へ出向いての授業)。⑦遺跡見学会(県内外の金山への「おとな金山探険隊」)。⑧親子映画観賞会(48回)、⑨博物館学芸員実習館として大学生の受け入れ、⑩管内高校のインターンシップの受け入れ、などの諸行事に加え、日常的に館内は敷居をもたない入りやすい環境を提供し、トイレ利用者や子どもの居場所にも開放(子ども用パソコン2台設置)、またエントランスにおける来館者への湯茶サー

ビスや来館者へ一声、声かけにも配慮した館活動を展開してきた。

館運営の基本を述べると博物館は町役場の中でも特別な職域で、町の玄関口に相当する場と考えている。館において来館者に与える印象は町の印象に直結しているだけに来館者には、全方向で気を配っていないと疎漏が出てしまう。

その上で来館者の知的好奇心をどれだけ満たすかの工夫が必要で、良ければ口コミで評判が広まり来館者増の流れが出てくる。すると博物館の印象も世間に鳴り響き、さらなる来館者を迎えることができる。その為にはいかなる時でも真剣な準備と対応が必要で、前述の事業はそのような考えの上で企画実施してきた結果であることを報告したい。前年増えた数字にさらに1,000人~1,500人余の有料入館者を上乘せし続けることは、日常的な地味な活動で得られるものであり、一過性のイベントでは果たせない。そんな積み上げが2万人達成に結びついたといえる。

身延町活性化を視野に入れた館外活動

さらには館外活動として富士川流域の発展があればこそ「身延町」の発展につながる広域的活性化へ向けた取り組みとしての「富士川流域王国」運動の推進と国史跡金山遺跡である湯之奥中山金山や佐渡相川金山、宮城県涌谷の黄金山産金遺跡などを包括した「黄金の国ジバング」の世界遺産登録運動の呼びかけをしてきた。後者については暫定登録に登録された「富士山」のコアとしての国史跡・湯之奥中山金山遺跡もあり得る。もし実現すれば観光立町身延の知名度や魅力は、聖地身延山久遠寺の存在と共に、飛躍的に高まることが予測される。中部横断自動車道の波高島I.Cや身延I.Cは、その表玄関口として開通に伴う経済効果も高まるだろうし、町内の観光施設も発展が望める。博物館もそのガイダンス館としての使命も一段と増すことになる。人口減少が続く身延町においても、これが上昇気流へとつながる千載一隅のチャンスとして捉えられる。

活動報告

平成18年度公開講座終了

10月～2月

「黄金がもたらした日本文化～黄金の国ジパングの深層を探る②」というテーマで、開催した公開講座ですが、1月は「安土城と大坂城にみる金箔瓦の世界」と題し、大坂城天守閣館長の中村博司先生にお話を伺いました。

先生は中世考古学が専門で、日本城郭関係の評議委員も勤めており、様々な調査研究をされています。今回、専門分野から、瓦に金箔が施されるのは安土城が初めてであり黄金時代という、黄金の茶室などに代表されるように秀吉のイメージが強くなりますが、実は織田時代から「黄金時代」があったのではないかという考察のもと、信長と秀吉とに共通する物品として、金箔瓦の出土事例を出し、また大坂城の金箔瓦の修復ビデオなどを上映しながらお話されました。約30人近くの聴講者が集まり、興味深く先生のお話に耳を傾けていました。

また、通算して50回という節目となった2月の講義は「先端産業と都市鉱山」と題し、当館

の小松美鈴学芸員が担当しました。

「都市鉱山」とは、金をはじめとする貴金属を含んだ廃棄物の集積を自然の鉱山に例えた言葉です。電化製品の数々には、様々な非鉄金属が使われており、昨今、特に話題にのぼるリサイクル産業の中で、不要となり捨てられたこれらの廃棄物を資源とみれば、私たちの住む「都市」は膨大な非鉄金属が眠っている「鉱山」とみだてることが出来ますが、それを具体例で紹介しました。現在稼業している日本の鉱山・菱刈金山の貴重な資料も紹介し、大変内容の濃い講義となりました。

今年度も各先生方のご協力をいただき、全5回の講座を好評のうちに終わることが出来ました。遠方からも聴講された皆様に厚く御礼申し上げます。

今後も、斬新なテーマを設定し、開催して参りたいと思います。多くの皆様のご参加をお願いいたします。



中村博司先生(1月20日)



小松美鈴学芸員(2月17日)

『金山史研究』第8集 発売のお知らせ

全国でも鉱山や金山に関連した定期刊行物は多くありません。そんな中で貴重な資料として発刊が待たれている『金山史研究』。ご講演いただいた講師の先生方にご協力をいただき、平成17年度公開講座記録集『金山史研究第8集』がいよいよ刊行されます。第8集には、第7回企画展記念講演、及び昨年11月に開催した「湯之奥金山遺跡現地ワークショップ」における基調報告・パネルディスカッションも収録。ボリュームある1冊となります。

平成17年度公開講座記録『金山史研究第8集』【体裁：A4版156ページ・カラー図版付、価格1,500円(会員価格：1,300円)】

湯之奥金山とその周辺…河内(峡南)の原風景を追って…

演 題	講 師 名
戦国時代河内の山に生きる	信州大学教授 人文学部副学部長 笹本正治
穴山氏と河内領	前山梨県史編さん室長 秋山敬
甲斐と駿河を結ぶ道	身延山大学教授 望月真澄
河内の産業と経済の歩み	山梨大学教授 齋藤康彦
古代の甲斐国	山梨県立博物館館長 国立歴史民俗博物館館長 平川南
企画展記念講演・宝石の色と輝き	山梨県立宝石美術専門学校教授 高橋泰
開館10周年記念特別収録 湯之奥金山現地ワークショップ	世界不動遺産・文化遺産研究会(WINCH 研究会)とのパネルディスカッション

書名：『金山史研究 第8集

～平成17年度記念講演と公開講座の記録～

一般発売日：平成19年4月下旬を予定。

(納品状況により、発売日が前後することがございますが、ご了承ください。)

※通信販売をご希望される方は、ご希望書名と住所・お名前・電話番号のメモを同封のうえ、商品代金+送料290円を、現金もしくは為替で当館までお送りください。代金到着を確認し次第、速やかに発送いたします。その他、ご不明な点は当館までお問い合わせください。

市川警察署より感謝状

2月20日(火)

昨年、開催いたしました開館10周年記念企画展「金を科学する」は、多方面から注目される企画展となりました。巨大金貨を始め貴重かつ高価な展示品が集中した期間中、市川警察署・川口昭彦署長様はじめ、市川警察署署員の皆様には、親身に警備にあたっていただくなど大変なご苦勞をおかけ致しましたが、無事に終えることができました。厚く御礼申し上げます。

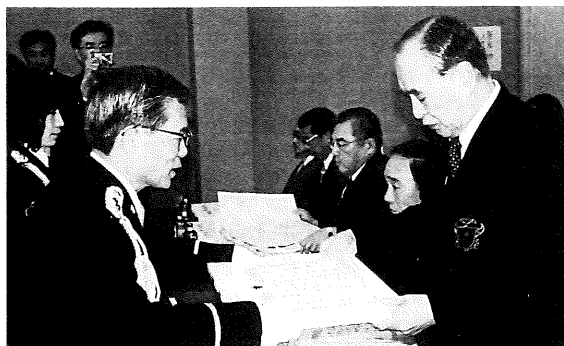
その後も、世間を騒がせるような物騒な事件が発生した際も、市川警察署員の皆様には常に館の警備等に関して、配慮していただいております。

また署の方からも、毛無山中看板設置の際、山中案内について博物館へ依頼を頂いたり、また谷口館長に歴史講演依頼をいただくなど、署との様々な交流がありました。

今般、新年度より県内警察署統合が決定した

中で、谷口館長と湯之奥金山博物館も感謝状贈呈の対象となり、去る2月20日に贈呈式に出席し、感謝状をいただきました。

市川警察署員の皆様に深く感謝すると同時に、統合後の新体制になりましたが、引き続き館に目を向けてくだされば幸いです。また、警察署員の皆様のさらなるご発展を祈念いたします。



身延山節分会

2月3日(土)

毎年盛大に行われている身延山久遠寺の「節分会」。毎年2月3日は、久遠寺の境内の特設ステージにて、年男、年女が壇上より、景気よく豆を撒き、その年の健康と繁栄を願います。

今年のメインゲストは、角界から魁皇関、女優の矢沢心さん、歌手の榎原敬之さんでしたが、特に榎原さんが立つ予定の位置のステージ下には、朝早くからファンが集まっており、ステージに榎原さんが登場すると、とりわけ大きな声



谷口館長(右)とマッキー(中央)の夢の“共演”!?

援を投げかけていました。榎原さんは、ファンの声に応えるように、強弱を付けながら一生懸命豆を撒いていましたが、豆まきの合間に見せる、周囲に対する気遣いの姿は、とても好感がもてました。

さて、今年の節分会では当館の谷口館長も壇上より豆を撒く機会を得ました。全部で3回に分けての豆まきが行われましたが、館長の出番は2回目のステージ。この日、谷口館長が豆撒きのステージに立つことを聞き、友の会の会員の方々も駆けつけてくれました。そして豆まき開始のアナウンスと共に、館のますますの繁栄を願い放った館長からの福豆を見事キャッチ。「せっかくの福豆だから皆で分けます」と嬉しそうに持ち帰っていただきました。

豆まき終了後、谷口館長に大勢の群衆に向かって投げた時の気持ちを聞いてみたところ「気を抜くと、みんなの勢いに圧倒されます」というのが、第一声でした。

晴天に恵まれ、例年より多い5,000人という人出のあった節分会は、大盛況に終わりました。

地域学習で出前講座(下山中学校2年生)

3月8日(木)

博物館では各校からの要請により、出前博物館を実施しておりますが、この日は下山中学校2学年の道徳の授業のゲストティーチャーとして小松学芸員が出向きました。男女合わせて9人の生徒を前に、仕事に対する思いなどと合わせて、今の時期に何が必要かという思いを伝え

ましたが、生徒達は目を逸らすことなく静かに真剣に聴いていました。

この出前博物館は、各校のニーズに合わせて対応して参りますので、お気軽にお問い合わせください。

平成18年度湯之奥金山博物館運営委員会開催

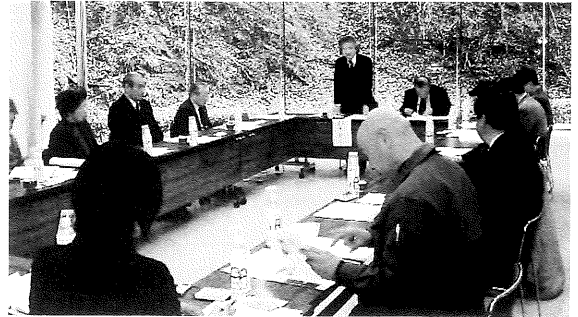
3月22日(木)

去る3月22日、今年度2回目の運営委員会が招集され、委員長、副委員長をはじめとし、委員、事務局合わせて14人による会議が開催されました。

会議は、事務局より平成18年度の最終的な博物館事業経過報告と、19年3月現在までの運営状況及び経過状況、そして平成19年度の博物館の事業計画についての報告がされました。

報告を受けて委員の先生方から意見をいただきましたが、「開館から10年の積み重ねは、厳しい現状下でありながらも、職員のひたすら目覚ましい努力によって結果が出ていると評価されました。結果は事業の多彩さや、上昇を続けて

いる入館者データの年推移にも反映されており、現体制では限界に近く、今後の体制を検討することが必要との指摘がありました。館の業務についても、学術文化施設・観光施設として前向きな方策について意見が交わされました。



目標突破! 平成18年度の有料入館者数は20,032人

当館の平成18年度有料入館者数は、目標の2万人を超えました。

平成9年4月の開館から10年を数えましたが、2001年からの入館者数は毎年、上昇気流に乗り増え続けたことは、これまでの積み重ねと努力によるものと信じています。平成19年度もこの年間有料入館者数2万人を下げることなく、これからも「おもてなしの心」「お客様サービスの向上」に精進し、身延町の玄関口として、もっともっと多くのお客様にご来館いただき、喜んでいただける博物館を目指し、スタッフ一同取り組んで参りますので、皆様のさらなるご支援・ご協力を賜りたくお願い申し上げます。

なお、このほか、行政視察や旅行会社の下見、また企画展、特別展の入場者数などは無料入館者欄にて示しておりますが、上記有料入館者数には含まれておりません。月別入館者数は次表のとおりです。

平成18年度 博物館利用状況

年月	開館日数	区分	有 料 入 館 者				無 料 入 館 者	年月	開館日数	区分	有 料 入 館 者				無 料 入 館 者
			観 覧	体 験	共 通	合 計					観 覧	体 験	共 通	合 計	
18. 4	26	大 人	691	269	274	1,234	31	18. 11	25	大 人	816	201	468	1,485	115
		中学生	30	22	38	90				中学生	5	156	4	165	
		小学生	124	75	41	240				小学生	224	245	36	505	
		小計	845	366	353	1,564				小計	1,045	602	508	2,155	
5	27	大 人	1,245	412	467	2,124	23	12	23	大 人	230	83	106	419	20
		中学生	11	258	35	304				中学生	0	20	3	23	
		小学生	231	209	119	559				小学生	5	46	12	63	
		小計	1,487	879	621	2,987				小計	235	149	121	505	
6	26	大 人	641	273	374	1,288	86	19. 1	26	大 人	443	97	223	763	1
		中学生	4	29	6	39				中学生	4	10	11	25	
		小学生	8	48	98	154				小学生	44	43	47	134	
		小計	653	350	478	1,481				小計	491	150	281	922	
7	27	大 人	475	371	343	1,189	15	2	24	大 人	321	135	252	708	8
		中学生	1	78	24	103				中学生	6	22	23	51	
		小学生	14	153	107	274				小学生	11	59	21	91	
		小計	490	602	474	1,566				小計	338	216	296	850	
8	31	大 人	923	730	627	2,280	96	3	29	大 人	648	194	313	1,155	107
		中学生	9	137	72	218				中学生	7	15	19	41	
		小学生	159	326	236	721				小学生	87	112	54	253	
		小計	1,091	1,193	935	3,219				小計	742	321	386	1,449	
9	26	大 人	579	227	473	1,279	13	合計	317	大 人	7,702	3,305	4,375	15,382	8,446
		中学生	4	15	9	28				中学生	94	782	248	1,124	
		小学生	14	47	38	99				小学生	930	1,739	857	3,526	
		小計	597	289	520	1,406				小計	8,726	5,826	5,480	20,032	
10	27	大 人	690	313	455	1,458	102	※無料入館者はカウントに含まれない。							
		中学生	13	20	4	37		(平成17年度比 1,474人増)							
		小学生	9	376	48	433									
		小計	712	709	507	1,928									

館からのお知らせ

平成19年度 博物館行事案内 2007. 4～2008. 3

行 事 名	開 催 日	行 事 内 容
第8回企画展・湯之奥金山博物館収蔵庫展 「金山衆の風林火山」	4月19日(木)～ 5月20日(日)	収蔵品、寄贈品など、これまで公開したことのない資料を一挙公開。
第7回砂金掘り大会・私学交流砂金掘り大会	8月4日(土)	迅速かつ正確さを競う競技としての砂金掘り。午後からは有名私学対抗の交流試合もあります。
第7回こども金山探険隊	8月25日(土)～ 26日(日)	夏休み恒例イベントの1つ。鉱山作業をまるごと体験できます。
第11回特別展 「みのぶ町の文化財と歴史遺産」(仮称)	8月9日(木)～ 10月9日(火)	身延町内に残されている数多くの歴史遺産と文化財を取り上げた特別展。
第9回企画展 「河内発・日本埋蔵金伝説」(仮称)	10月25日(木)～ 12月2日(日)	河内地方、そして全国的な埋蔵金伝説をテーマにした企画展。

◎平成19年度公開講座・第51回～第55回

10月から翌年2月までの各月1回の講義を開催 ※公開講座記録集として「金山史研究」を刊行

◎遺跡見学会 10月・11月 ※見学地については未定

◎親子映画観賞会

- 第40回 平成19年5月5日(土) 第43回 平成19年11月10日(土)
 第41回 平成19年6月30日(土) 第44回 平成19年12月8日(土)
 第42回 平成19年8月22日(水) 第45回 平成20年3月27日(水)

※都合により、内容・日程などを変更することがございますが、ご了承ください。また、上記の行事以外にも計画しておりますので、各行事とも詳細が決定次第、『館だより』や博物館ホームページでお知らせいたします。

平成19年度 友の会新規会員募集と更新のお知らせ

平成18年度「湯之奥金山博物館友の会」は、150人を超える皆様に会員となっていただき、博物館活動にご協力いただきました。新年度に切り替わるとともに友の会も更新の時期を迎えましたので、お手続きのお知らせをいたしますと同時に、新規会員を募集いたします。

入会されますと…

- ◎博物館常設展示・企画展示が無料でご覧いただけます。
- ◎年4回発行される『館だより』、『友の会だより』が送付されます。また、各種情報や行事案内が送付されます。
- ◎『展示図録』、『金山史研究』などの博物館刊行物が友の会価格で購入できます。
- ◎友の会会員限定企画に参加することが出来ます。
- ◎会員期限は平成19年4月～20年3月末日までです。

年会費：個人会員 大人 1,000円
小中学生 300円

家族会員 2,000円
特別賛助会員 5,000円

入会方法：博物館受付にて直接お申し出いただくか、所定の郵便振込用紙にて会費をお振込みください。振込み用紙は、博物館に申し出ていただければ、ご送付いたします。

その他、不明な点がございましたら、当館までお問い合わせください。

第8回企画展 湯之奥金山博物館収蔵庫展「金山衆の風林火山」

当館の常設展示は、湯之奥中山金山の総合調査により明らかとなった「中世・戦国期の鉱山作業、及び山の中に暮らした人々の生活の様子」をテーマとし、それまでの金山・鉱山調査では明らかとなっていなかった部分が詳細に分かり、そして、その後の全国的な鉱山研究を深化させるきっかけともなっています。

さらに、甲州のシンボルであり、また当館のシンボル展示でもある地方貨幣「甲州金」。まさに金貨であるこの貨幣の魅力に、見る者は引き付けられ、思いを馳せるわけですが、このように館の規模からは想像もつかない程に内容の濃いものとなっており、ご来館くださる皆様にご好評をいただいております。

展示室の資料は、これらの歴史事実を伝えるための特に代表的なものであり、博物館収蔵庫には、スペースの関係などから展示公開出来なかった多くの収蔵品があり、順次皆様にご覧いただく機会を検討しています。

収蔵庫展は平成14年に開催して以降2回目か

ら5年ぶりの開催となりますが、その間、関係者の皆様のおかげで支援・ご協力により、寄贈なども受け、様々な収蔵資料が増えました。

今回の企画展では、これらの収蔵資料をはじめ、その後の現地調査で発見された資料を中心に、未公開の寄贈収蔵資料を、湯之奥金山の歴史をもう一度見直す機会と促えると同時に、資料をご寄贈くださった皆様への謝意をこめて一挙公開することといたしました。

特に今回は、常設展示とのセット展示として捉えていますので、常設展・企画展を合わせてご観覧くださいますよう、お勧めいたします。約1か月間のこの企画展、どうぞ多くの皆様のご来館をお待ちしております。

期 間：平成19年4月18日(木)～5月20日(日)

場 所：湯之奥金山博物館多目的ホール

観覧料：観覧券及び共通券にて、常設展示ご観覧の方は無料。企画展示のみご観覧の方は100円（友の会会員無料）

県民情報プラザ「風林火山博」開催中

NHK大河ドラマ「風林火山」の放映が始まり、県内でもますます盛り上がりを見せる“風林火山”ですが、甲府・平和通り沿いの山梨県民情報プラザにおいて、今年の1月20日より1年間の企画展「風林火山博」が開催されています。

この企画展のオープニングセレモニーでは、「風林火山」で“山本勘助”を演じる俳優・内野聖陽さんがゲスト登場し、沿道まで溢れたファンや来場者から大きな声援を受けていました。

山本勘助はもちろん、甲州武田の歴史を大きく取り上げた遊び心溢れる展示内容で、特産品コーナーやお土産コーナー、飲食コーナーなど様々なブースが設けられ、ちょっとした休憩場所としてもご利用いただけます。

当館の貴重な資料も展示されておりますので、是非、足をお運びください。

また、去る3月25日放送の「風林火山」内の番組最後の「風林火山紀行」では、わが身延町が取り上げられ、久遠寺、下部温泉、湯之奥金

山、当館の砂金採り体験室が紹介されました。

◎『風林火山博』について◎

期 間：平成19年1月20日(土)～平成20年1月20日(日)

入 場 時 間：10:00～18:00まで

場 所：山梨県民情報プラザ特設会場

お問合せ先：☎055-223-7751

(甲斐の国風林火山博実行委員会事務局)



オープニングセレモニーに出席した
内野聖陽さん（左から2番目）
（1月20日・於県民情報プラザ）

甲永鉾山の鉾山資料20点を寄贈いただきました

この度、身延町波木井在住の佐野照雄氏より、甲永鉾山で使用された近代の鉾山道具20点を寄贈いただきました。甲永鉾山は早川町雨畑に位置し、古い時期の開発経過は明らかではありませんが、昭和初期にも稼業された金山です。

これらの鉾山道具は佐野様のお父様にあたる、故・延夫氏がかつてこの甲永鉾山で働き、金の精錬に携わっていたということで、50年以上もの長きにわたって佐野家に伝わっていたものということでした。佐野様は「このままにしてお

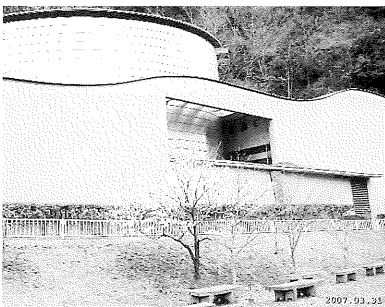
いては、父の思い出も歴史も伝えることが出来ない」と考え、当館への寄贈をご決断されました。木製ふいごをはじめ、金磨り鉢、未使用の大小様々のるつぼや、精錬銀など、近代の鉾山の様子を垣間見ることが出来る非常に珍しく貴重な資料です。

これらの鉾山資料は第8回企画展示「金山衆の風林火山」で公開後、常設展示室の自然金コーナーに追加展示いたします。佐野様の温かいお心に御礼申し上げます。

博物館日誌 (平成19年1月～3月)

30日(日)	28日(金)	26日(水)	24日(月)	23日(日)	22日(土)	21日(金)	20日(木)	19日(水)	18日(火)	17日(月)	16日(日)	15日(土)	14日(金)	13日(木)	12日(水)	11日(火)	10日(月)	9日(日)	8日(土)	7日(金)	6日(木)	5日(水)	4日(火)	3日(月)	2日(日)	1日(土)																				
YBSラジオ「765 morning」PR出演	「ドクエもん」のび太の恐竜2006・「森のリトル・ギャング」	春の臨時開館・親子映画観賞会	市川警察署長来館	ザテレビジョン取材撮影、富士川流域王国会議	株式会社ニプロ佐野社長来館	博物館運営委員会	春分の日、桜観期・春の無休開館(4月17日迄)	県物産連盟来館	企画展ポスター完成	甲府CATVテレビ撮影打合せ	臨時開館	熊野神社より棟札等4点寄託	山梨自然同好会・田中収氏引率70人	身延西小3年生課外授業	下山中2学年出張講座	大野保育園遠足	原保育所遠足	佐野照雄氏より鉾山用具等寄贈	イルミネーション終了	観光物産推進協議会来館	市川警察署感謝状贈呈式出席	MOA児童作品展(2月末日まで)	第50回公開講座・小松美鈴学芸員	身延北小3年生課外授業	久那土中町内めぐり・ジオラマ修理	パレンタインデーチョコ配付	山梨日日新聞取材	地域資源活用推進事業報告会	山梨新報 取材撮影	山梨小3年生遠足、多目的ホール壁修繕	身延山節分会	ことぶき勸学院 甲府CATV下見	中山金山遺跡保存管理計画会議	身延山大学学生課外学習	身延町教育委員審議会出席	親子映画観賞会「リトル・マーメイド」	第49回公開講座・中村博司先生	風林火山博オープニングセレモニー(於山梨県民情報プラザ)	改訂版展示図録一般頒布開始	NPOつなぐ 町案内冊子の取材・撮影	どんどん焼き	成人の日・成人の日特別無料入館券配付	お山飾り 団子花飾り	初雪 駐車場雪かき	臨時開館	正月 仕事始め

編集後記



昨今のブームは「風林火山」。県内各地の博物館施設では風林火山になぞらえた企画展が目白押しです。甲州好き・武田好きな歴史マニアにはたまらない時期かもしれませんね。そんなわけで当館もブームに便乗しないわけにはいきません。4月18日より約1か月間、「金山衆の風林火山」と題して、湯之奥金山博物館収蔵庫展を開催し、新たな資料や収蔵品を一挙公開。2階常設展示とセットとなっているこの企画展、多くの皆様のご来館をお待ちしております。

さて、木々の花々も咲き乱れ、陽気も良くなってきました。博物館も4月からの新体制下、ますます町民に親しまれ、そして訪れる人に優しい施設でありたいと、博物館スタッフ一同、精進して参りますので、どうぞ宜しくお願いいたします。

博物館だより 第40号 平成19年3月31日

〒409-2947 山梨県南巨摩郡身延町上之平1787番地先 甲斐黄金村・湯之奥金山博物館

博物館HPアドレス http://www.town.minobu.lg.jp/local_minobu/kinzan/index.html 博物館Eメールアドレス yunoking@town.minobu.lg.jp